

建築学科

建築・インテリア入門

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2	
担当教員	小池 和仁			実務 経験	有	職種	建築設計					

授業概要

建築・インテリアの概念および建築倫理などについて幅広く学びます。

到達目標

幅広い基礎知識習得として、次の4点を到達目標とする。①世界の建築についての概要がわかる。②身体寸法と空間寸法について把握できる。③各種の空間と建築・インテリアの関わりがわかる。④建築の環境、工法、材料などの基本がわかる。

授業方法

講義と演習を中心に授業を進め、理解度を深める。講義では、各单元が実務に必要になるか意識しながら進める。演習では、授業で解説して基本問題について解き、さらに応用問題に取り組む。

成績評価方法

授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する

履修上の注意

集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。小テストを実施するので毎回の理解度を確認して、予習・復習を怠らないこと。出席は自己管理し出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上の出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

教科書教材

はじめて学ぶ住居学 学芸出版社

回数	授業計画
第1回	授業ガイダンス、世界の建築-1 建築とは何か、概要を理解する。
第2回	世界の建築-2 世界の建築の概要について理解する。
第3回	建築の基本 西洋建築 西洋建築の概要について理解する。

建築・インテリア入門

第 4 回	建築の基本 日本建築 日本建築の概要について理解する。
第 5 回	建築の基本 近代建築 近代建築の概要について理解する。
第 6 回	建築の基本 現代建築 現代建築の概要について理解する。
第 7 回	身体寸法と空間寸法 身体寸法と空間寸法を理解する。
第 8 回	住まいとしての建築とインテリア 住まいとしての建築とインテリアについて理解する。
第 9 回	商業としての建築とインテリア 商業としての建築とインテリアについて理解する。
第 10 回	公共建築としての建築とインテリア 公共建築としての建築とインテリアについて理解する。
第 11 回	建築の地域、気候、場所 建築の地域、気候、場所について理解する。
第 12 回	建築の環境、照明、色彩、音 建築の環境、照明、色彩、音について理解する。
第 13 回	建築の技術基礎(種別、工法) 建築の技術基礎(種別、工法)について理解する。
第 14 回	建築の技術基礎(材料) 建築の技術基礎(材料)について理解する。
第 15 回	総まとめ 事例検証と全体のまとめ。